

株主通信

第86期(2017年3月期)中間
(2016年4月1日~2016年9月30日)

Amazing T!tanium

チタンで、世界に驚きと感動を。

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より、当社に格段のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期（2016年4月～9月）の事業環境につきましては、金属チタン事業は最終需要先である航空機の生産は堅調に推移しておりますが、一部ユーザーにおける原料在庫圧縮の動きによる影響及び大型プロジェクト向け需要の減少に伴う一般工業向け製品への影響等により、総じて厳しい環境にあります。機能化学品事業につきましては、主力製品である触媒、電子材料ともに堅調に推移している一方で、競争関係は激しさを増しております。

以上の環境のもと、当第2四半期の業績につきましては、全部門にわたり、コスト削減をはじめとする改善諸施策の実行に努めてまいりましたものの、円高、

チタン部門の減販等の影響が大きく、売上高は154億75百万円、営業利益は10億62百万円、経常利益は13億30百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億8百万円と前年同四半期比減収減益となりました。

配当につきましては、中間配当は見送りますが、期末配当は1株当たり2円増配の7円とすることを予定しております。

今後につきましては、当期首から取組みを開始した中長期経営戦略に基づき、質の追求による経営基盤の強化、確立に向け、総力を結集して、利益を着実に積み重ねつつ、変革諸施策を鋭意展開してまいります。

当社及び当社グループの未来を切り拓くべく全力を尽くしてまいりますので、何卒、皆様の変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

中長期経営戦略

「質の追求」により、「経営基盤」を強化、確立する。

質の追求	管理・間接部門を含むあらゆる部門において、差別化できる品質、コスト、納期、商品等を追求する。	
経営基盤	①収益基盤	▶ 黒字体質の定着、強化
	②財務基盤	▶ 攻・守に即応できる財務体質の構築
	③人材基盤	▶ 元気の出せる風土・仕組みづくり、変革をリードできる人材の育成・確保
	④成長基盤	▶ 成長戦略（サウジ、直江津プロジェクト）の実現 ▶ 新規事業の仕込みと育成・展開



東邦チタニウム株式会社
代表取締役社長 加賀美和夫

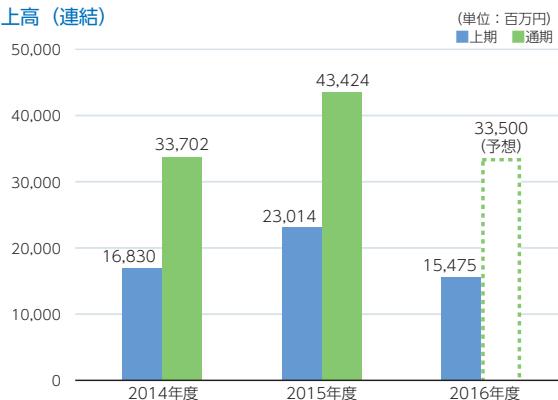
財務ハイライト

(単位：百万円)

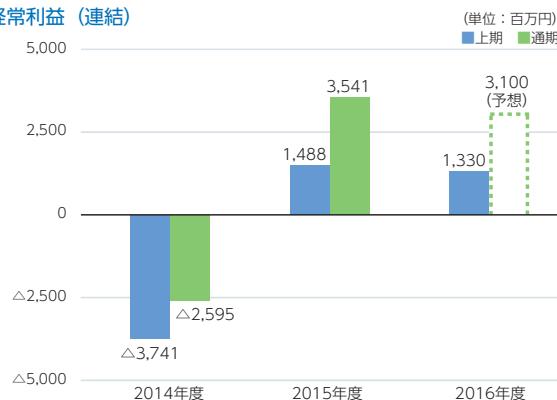
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
2016年度第2四半期実績	15,475	1,062	1,330	908
2016年度通期業績予想	33,500	3,000	3,100	2,600

※2016年度通期業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

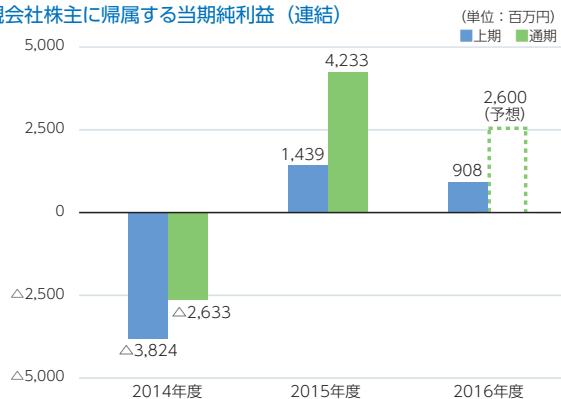
売上高 (連結)



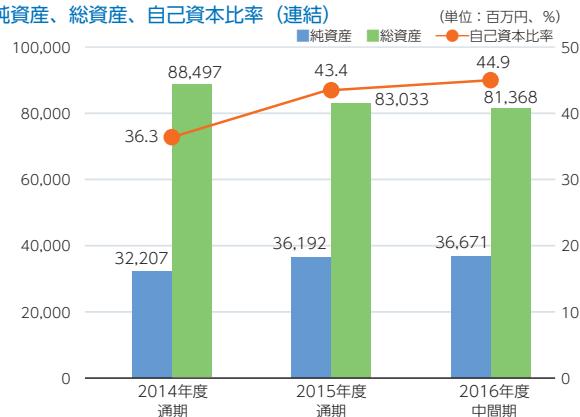
経常利益 (連結)



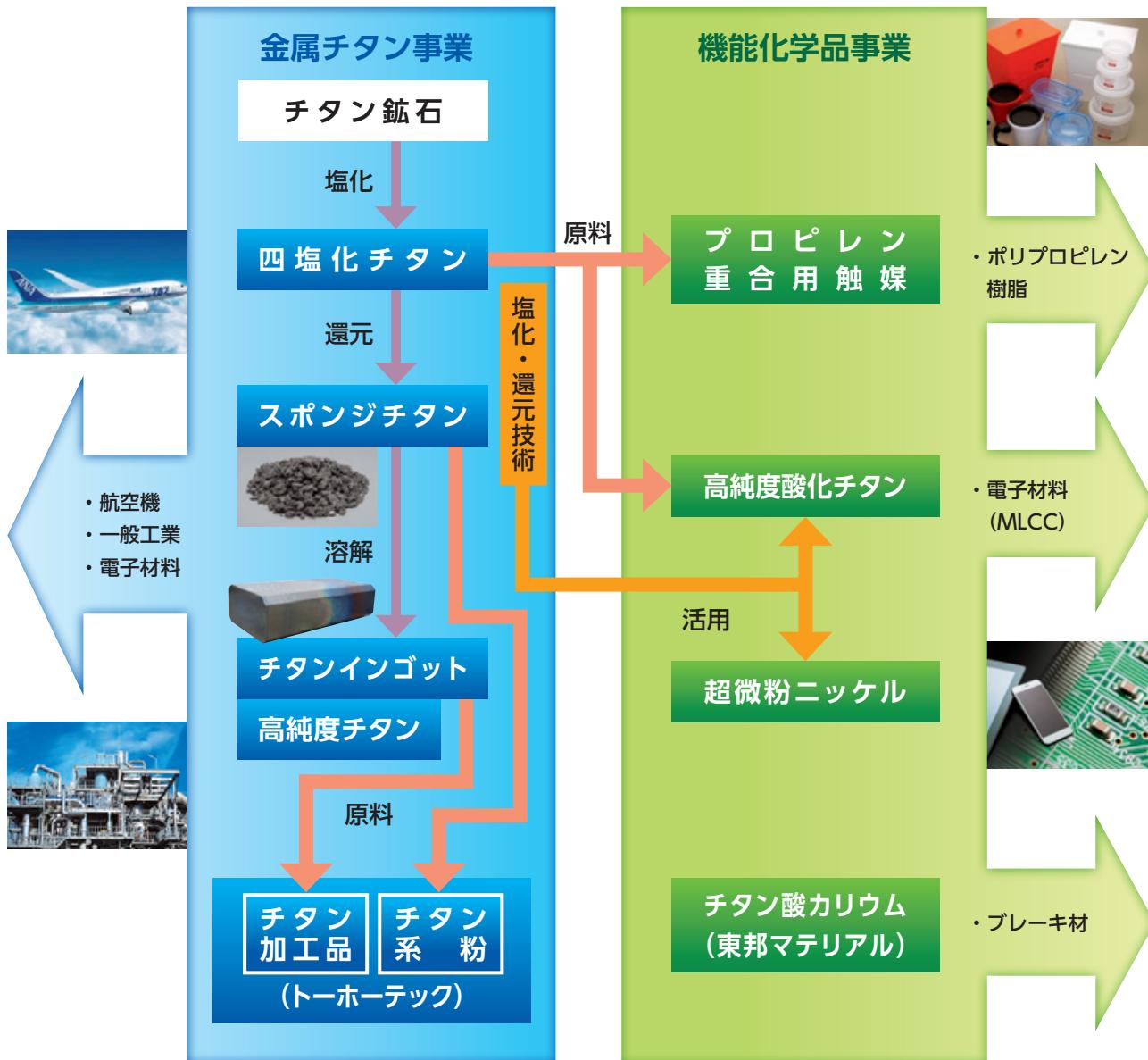
親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)



純資産、総資産、自己資本比率 (連結)



事業紹介

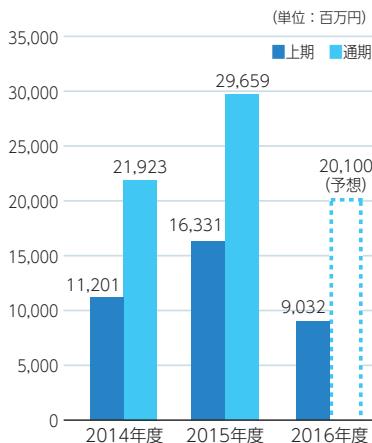


金属チタン事業

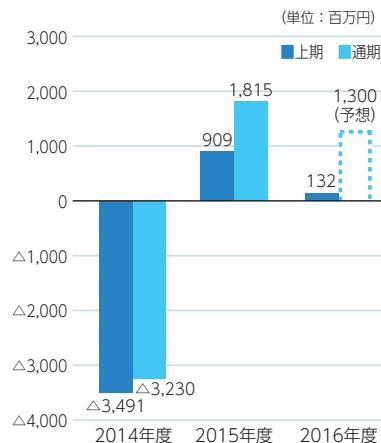
一部ユーザーでの在庫圧縮に伴う減販及び円高等、足許の事業環境は厳しいものの、今後とも増大する旅客数に伴い拡大する航空機向けを中心に、チタン需要は着実な成長が期待できます。

将来の需要拡大を見据えて、サウジアラビアでのスポンジチタン製造工場の建設を、2017年度下期内での商業生産開始を目的に、同国企業との合併にて進めております。

売上高 **90億32百万円**



営業利益 **1億32百万円**

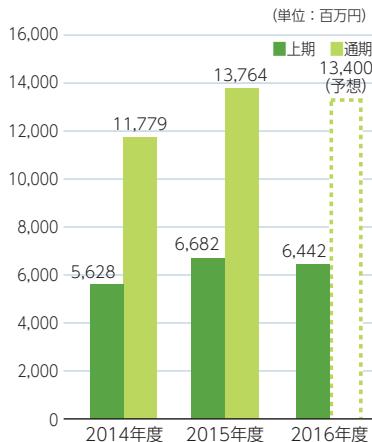


機能化学品事業

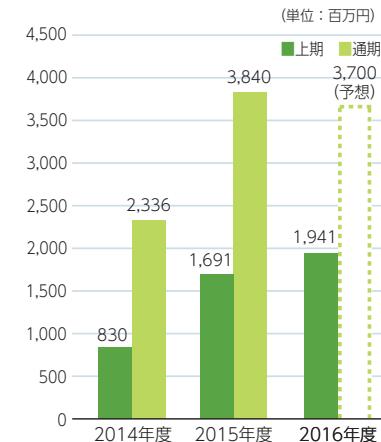
当第2四半期は比較的堅調に推移いたしました。市場環境は円高、価格競争、開発品の先陣争い等厳しさを増しております。

超微粉ニッケルに関しましては、能力増強、BCP対応を兼ねて第三工場を当社若松工場（福岡県北九州市）敷地内に建設いたします。同工場は本年10月から建設をスタート、2017年度下期に本格的な商業生産を開始する計画です。

売上高 **64億42百万円**



営業利益 **19億41百万円**



- ※1 2015年度は、海外の連結子会社2社について、仮決算方式への変更により15ヶ月（前期は9ヶ月）を連結しております。このうち2015年1月1日から同年3月31日までの売上高は、金属チタン事業が1,302百万円、機能化学品事業が616百万円、営業利益は、金属チタン事業が42百万円、機能化学品事業が10百万円であります。
- 2 営業利益は全社費用控除前のものです。（2016年度の全社費用は、前期1,011百万円、通期予想2,000百万円であります。）
- 3 2016年度通期業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

サウジアラビア合併事業について

サウジアラビアでのスポンジチタン製造合併事業は、同国ヤンブーに当社若松工場をモデルとする年産能力15,600トン規模のスポンジチタン製造プラントを建設するもので、隣接する合併相手の酸化チタン工場からの原料供給と、同国の競争力のある電力コストにより世界的に卓越したコスト競争力を有することになります。

製造されたスポンジチタンは、淡水化プラント（熱交換器など）をはじめとするサウジアラビア及び湾岸諸国の需要、更には世界の航空機需要に対応することができるものと期待されています。

建設工事は2015年5月に着工し、2017年5月完成に向けて順調に進んでおり、約7割の工程が終了した段階であります。

また、現地での操業を担うサウジアラビア現地採用者67名は、当社若松工場で2017年3月までの予定で、操業のスムーズな立上げに向けて、日々研修に取り組んでおります。当社社員も2016年10月末現在で19名が現地に赴任し、工事管理など現地業務に鋭意取り組んでいます。



建設中のサウジアラビアスポンジ製造工場

ウェブサイトリニューアル

当社のウェブサイトでは、プレスリリースなどの最新情報のほか、事業概要、製品など当社をご理解いただくためのコンテンツを掲載しております。

本年7月、皆様への情報提供機能を充実させることなどを目的として、ウェブサイトを全面リニューアルしました。

ウェブサイトの問い合わせフォームにつきましても、従来より使いやすいものに改善しております。

また、ウェブサイト上には当社の環境、社会貢献などのCSRに関する取組みを記載したCSRレポートも掲載しております。

今後とも、新しくなったウェブサイトを通じて、タイムリーでわかりやすい情報発信に努めてまいります。

東邦チタニウム

検索

<http://www.toho-titanium.co.jp/>



環境・品質方針の改定

本年4月の経営理念の改定を受け、環境方針と品質方針の見直しを検討した結果、両方針を統合したうえで、本年8月、新たに環境・品質方針として改定しました。

改定後の環境・品質方針は、経営理念、行動基本方針とともに裏表紙に記載しております。

四半期連結財務諸表（要旨）

（単位：百万円）

四半期連結貸借対照表（要約）

科目	当第2四半期	前期
	2016年9月30日	2016年3月31日
〈資産の部〉		
流動資産	29,883	29,168
固定資産	51,484	53,864
有形固定資産	45,780	48,220
無形固定資産	325	264
投資その他の資産	5,378	5,379
資産合計	81,368	83,033
〈負債の部〉		
流動負債	24,163	24,510
固定負債	20,532	22,329
負債合計	44,696	46,840
〈純資産の部〉		
株主資本	36,415	35,862
その他の包括利益累計額	134	210
非支配株主持分	121	119
純資産合計	36,671	36,192
負債純資産合計	81,368	83,033

四半期連結損益計算書（要約）

科目	当第2四半期	前第2四半期
	2016年4月1日～ 2016年9月30日	2015年4月1日～ 2015年9月30日
売上高	15,475	23,014
売上原価	11,941	18,957
売上総利益	3,534	4,057
販売費及び一般管理費	2,471	2,347
営業利益	1,062	1,709
営業外収益	515	72
営業外費用	248	293
経常利益	1,330	1,488
特別利益	0	0
特別損失	12	5
税金等調整前四半期純利益	1,317	1,483
法人税、住民税及び事業税	156	58
法人税等調整額	248	△7
法人税等合計	405	51
四半期純利益	912	1,432
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	△7
親会社株主に帰属する四半期純利益	908	1,439

四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

科目	当第2四半期	前第2四半期
	2016年4月1日～ 2016年9月30日	2015年4月1日～ 2015年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,889	6,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	△376	△303
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,146	△5,665
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	△6
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	302	109
現金及び現金同等物の期首残高	1,226	2,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,528	2,478

（注）記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。



経営理念

東邦チタニウムグループは
チタンと関連技術の限りない可能性を追求し
優れた製品とサービスを提供し続けることで
持続可能な社会の発展に貢献します

行動基本方針

私たちは、経営理念を実現するため次の3つの基本方針に基づき行動します。

1. 安全とコンプライアンスを最優先し、健全で公正な企業活動を行います。
2. 変革と創造を実践し、従業員と企業の持続的成長を果たします。
3. 顧客、地域社会、株主をはじめとする全てのステークホルダーと対話を進め、信頼・共生関係を築きます。

環境・品質方針

環境負荷の低減と高い品質を共に求めて
持続的な技術革新を進め
地域、地球に優しい環境づくりに努めるとともに
サプライチェーンの期待に応える
製品とサービスを安定的に提供します

◆ 環境・品質方針を実現するため
環境・品質マネジメントシステムを
事業プロセスの一部として維持し継続的に改善します

会社概要 (2016年9月30日現在)

- 社名 東邦チタニウム株式会社
- 本社所在地 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎三丁目3番5号
- 生産拠点 茅ヶ崎工場、若松工場、八幡工場、日立工場、黒部工場、岐阜工場 (東邦マテリアル株式会社)
- 資本金 119億63百万円
- 従業員数 (連結) 916名
- 主要な子会社 トーホーテック株式会社
東邦マテリアル株式会社
Toho Titanium America Co., Ltd.
Toho Titanium Europe Co., Ltd.

株主メモ

- 事業年度 4月1日から3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会権利行使株主 3月31日
期末配当金受領株主確定 3月31日
中間配当金受領株主確定 9月30日
- 単元株式数 100株
- 公告の方法 電子公告
- 上場証券取引所 東証第一部
- 株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
- 同連絡先 三井住友信託銀行株式会社証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-782-031

IRカレンダー (2017年1月~6月) (予定)

1月	2月	3月	4月	5月	6月
1月下旬 ◎2017年3月期 第3四半期 決算発表		3月末 ◎期末配当基準日	4月下旬 ◎2017年3月期 決算発表		6月上旬 ◎第86期定時株主総会 招集ご通知発送 6月下旬 ◎第86期定時株主総会 開催